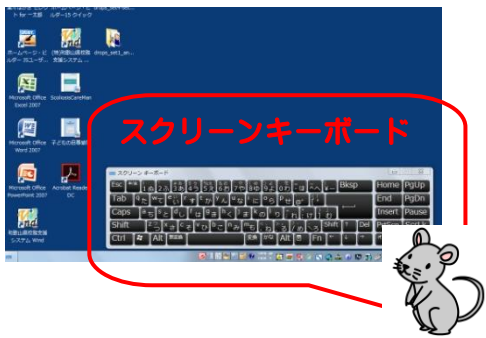


マウスを使って勉強チュー

～スクリーンキーボード～

ウィンドウズのパソコンには初めから『アクセシビリティ』という機能がついています。今回紹介するのはその中の『スクリーンキーボード』です。マウスを操作することができれば、キーボードを操作しなくてもスクリーン上のキーボードをクリックすることで文字を打つことができます。肢体不自由のある子どものパソコン操作を支援するものです。



「キーボードを操作するのが大変なんです。」保護者からの困り感を聞いて、必要な支援につなげることができました。実際の授業では、スクリーンキーボードを使って短い英作文や交流学习の感想文を書くことができました。気になった方は、コントロールパネルからコンピューターの簡単操作をクリックしてください！（望月）

「聞こえにくさ」に関する合理的配慮の例～Aちゃんの場合～

<環境>
・校舎の端の静かな教室を選定
・イスに消音マットをとりつけ

<連携>
・病院やろう学校と連携

<障害の理解・推進>
・地域の聴覚障害の方に依頼して全校児童に理解学習、同日に参観日を設定し保護者にも理解を図る



<情報保障>
・聞き取りやすく視覚情報が入りやすい席
・視覚情報を増やす
・ビデオ教材は字幕を活用
・国語の聞き取り学習はCDではなく肉声で
・FM補聴器の活用

<教育内容・方法>
・前庭水管拡大症なのでマット運動は見学
・通級指導で発音とことばの学習
・担任や支援員と補聴器の手入れの学習

<災害時の対応>
・電池の持ち出し体制の確認
・避難訓練では簡単な手話で伝える練習